

書名

松浦船

(18) ^

所蔵

大妻女子大学図書館

登録番号

913.58
2992-8

1-2

設置

(1) 外題 (簽・書) (書刷) (原・後) (左) (中) (單・双・無)

(二冊目↓) 松浦ふね 初篇 貳篇

(二冊目↓) 松浦船 三編 四編 五編

(2) 装幀 五卷 (18) ^ 二冊 (袋・懷紙・綴)

書型 大・半・中・小・横・升

寸法 (表紙) 縦 12.8 cm × 横 11.5 cm

(3) 表紙 白 色

文様 下し

(6) 挿絵 無・丹緑 (墨印) 色刷

(7) 内題

(見返し) 松浦船 水掉婦言 各巻見返しにあり

(4) 原題簽 第 卷 縦 横 cm × cm

(5) 本文匡郭 (單・双・無) 字高・界線 第一卷 縦 16 cm × 横 10.5 cm

(8) 用字

(目録) なし
(巻首) なし
(尾) なし
(跋) なし

序文 漢・片・平・他 十五行 (18) ^
本文 漢・片・平・他 二十行
跋文 漢・片・平・他 行

(9) 作者

笠亭仙果 (18) ^

(10) 絵師

歌川國芳

(11) 序文

各巻ゴトにあり

(13) 刊記 (最終丁末尾・裏見返し) なし

※後見返しに蔵版目録・広生ロがあり、その刊記が各巻ゴトにありなる。(18) ^

(12) 跋文

なし

(14) 広告・蔵版目録 () 丁

各丁に半葉

(15) 旧蔵者 (印)

なし

(16) 柱刻

松浦船編

初上五

丁づけ

初篇と五篇は丁づけか他のものより上気味である。
②二・三・五篇は「編」のウナナシ

(17) 丁数・挿絵

(18) へ

巻数	丁数	絵・見開き	絵・半葉	欠丁・破損等
初上	十	九画	二画	《序》ノ丁オ《内題》ノ丁(序の部) 《本大》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《内題》ノ丁(序の部)
初下	十	十画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
二上	十	九画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
二下	十	十画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
三上	十	十画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
三下	十	十画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
四上	十	九画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
四下	十	十画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
五上	十	九画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)
五下	十	九画	二画	《序》ノ丁ウノ丁(白ノオノ丁ウ) 《本大》ノ丁ウノ丁(序の部)

(18) 備考 (書入れ・識語・所見 合綴や補写等)

(1) 合綴本。一冊目(初篇上・下、二篇上・下)二冊目(三・四・五篇各上・下)それぞれ二冊に分けられたの国書になり、2冊目とした。
(2) 各篇表紙は色刷で人物が描かれている。後表紙はすべて新橋色一色で柄を刷つてある(二冊目全て)穴果文綴子で、穴果文のみに「出目」とあり、二冊目上・三篇上・四篇上・下は桐と芝の様な柄を組み合わせたものと石目瓦にの印が入ったもの、五篇上・下は青海波に桜)

書目名：国書では同名の本があるが、それは著者が国貞なので違うとも見られる。各巻の目録
二の巻とされておられ、作者があること、一巻に二、二がふつてあること、後者ではない。

(9) 紅英堂發行

(13) 一冊目↓初上・二上：実母散・せまきの妙菜
初下・二下：ま品永大癸五春新録目録
二冊目↓三上・四上：実母散・せまきの妙菜の広告
三下：ま品永七甲寅春新録目録(舊刊)
四下：ま品永八乙卯春新録目録(旧刊)
五上：ま品永九丙辰春新録目録(旧刊)
五下：実母散三年丙辰歲陽春開板標目(舊刊)



(19) 複写
有・無 コピー・写真・マイクロ
(一) 全・挿絵・広告・蔵版目録

(2) 二冊目(三篇上・五篇上)の後表紙に「御側御用」と書き入れあり。
(一冊目(初篇上・三篇上)の後表紙がとれて紛失している。
(8) バラつきあり。(又口巻ごと)